４．退職給付に係る引当金の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

役職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

職員の退職給付債務の算定に当たり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。

数理計算上の差異は、その発生事業年度に一括費用処理することとしております。

役員の退職給付債務の算定に当たり、日本年金機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

なお、運営費交付金により財源措置がなされる見込みである退職一時金については、退職給付引当金と同額を退職給付引当金見返として計上しております。

５．消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

［貸借対照表注記］

１．金融商品の状況に関する事項

⑴　金融商品に対する取組方針

資金運用については、預金保険制度により全額保護される決済性預金に限定し、また、資金調達については、機構運営費交付金、事業運営費交付金及び年金生活者支援給付金支給業務事務取扱交付金を財源としております。なお、厚生労働大臣の認可を受けて、短期借入を行うことができますが、当期は行っておりません。

⑵　金融商品の時価等に関する事項

現金及び預金、未払金、保険料等預り金、預り金は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

２．資産除去債務に係る会計処理

⑴　当該資産除去債務の概要

賃借建物の原状回復義務、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律等に基づき日本年金機構が所有する建物の解体時における除去費用につき資産除去債務を計上しております。

⑵　当該資産除去債務の金額の算定方法

負債計上した資産除去債務の金額の算定に当たっては、使用見込期間を10年～50年と見積り、割引率は－0.082％～2.266％を使用しております。

⑶　当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	4,612,842,835円
有形固定資産の取得に伴う増加額	25,872,325円
時の経過による調整額	31,645,684円
当期減少額	5,887,799円
当期末残高	4,664,473,045円

３．固定資産の減損

⑴　減損の認識

①　旧大田年金事務所

㋐　固定資産の用途、場所、種類、帳簿価額の概要

資産名称	用途	場所	種類	当期末帳簿価額
土地	年金事務所用地	東京都大田区	土地	393,000,000円

㋑　減損の認識に至った経緯

上記資産については、資産の利用方法について検討しておりましたが、確実な将来の使用見込みが存在しないことから減損を認識しております。

㋒　回収可能サービス価額の算出方法

上記資産の回収可能サービス価額は、路線価（令和６年分）に基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回ることから、減損額は生じておりません。

②　旧池袋年金事務所

㋐　固定資産の用途、場所、種類、帳簿価額の概要

資産名称	用途	場所	種類	当期末帳簿価額
土地	年金事務所用地	東京都豊島区	土地	296,000,000円

㋑　減損の認識に至った経緯

上記資産については、資産の利用方法について検討しておりましたが、確実な将来の使用見込みが存在しないことから減損を認識しております。

㋒　回収可能サービス価額の算出方法

上記資産の回収可能サービス価額は、路線価（令和６年分）に基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回ることから、減損額は生じておりません。

③　箱崎倉庫

㋐　固定資産の用途、場所、種類、帳簿価額の概要

資産名称	用途	場所	種類	当期末帳簿価額
土地	倉庫用地	福岡県福岡市	土地	32,500,000円

㋑　減損の認識に至った経緯

上記資産については、資産の利用方法について検討しておりましたが、確実な将来の使用見込みが存在しないことから減損を認識しております。

㋒　回収可能サービス価額の算出方法

上記資産の回収可能サービス価額は、路線価（令和６年分）に基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回ることから、減損額は生じておりません。

④　幕張宿舎１～３号棟

㋐　固定資産の用途、場所、種類、帳簿価額の概要

資産名称	用途	場所	種類	当期末帳簿価額
土地	職員用宿舎用地	千葉県千葉市	土地	711,538,190円
建物	職員用宿舎	千葉県千葉市	建物	274,750円

㋑　減損の認識に至った経緯

上記資産については、資産の利用方法について検討しておりましたが、確実な将来の使用見込みが存在しないことから減損を認識しております。

㋒　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種類	場所	減損額	内訳	
			損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土地	千葉県千葉市	51,357,850円	0円	51,357,850円
建物	千葉県千葉市	274,749円	0円	274,749円

㋓　回収可能サービス価額の算出方法

上記資産の回収可能サービス価額は、土地については路線価（令和６年分）に基づいて算定した額、建物については備忘価額としております。